

このページでは、避難生活での疑問や、除染・補償・賠償に対する質問にお答えします

ご協力ありがとうございました
12月11日 飯野出張所でお聞きしました



青木 公男さん(大久保・外内)

(質問) 避難生活も4年が経とうとしています。村内に土地・建物を残しながら避難先に住宅を求めた場合、避難指示解除後には、固定資産税が双方にかかってしまうのでしょうか。村がどういう対応を考えているか教えてください。

(回答) 一般的に、複数の市町村に土地・建物を所有していれば、それぞれに固定資産税が課税されます。

現在、飯館村は原発事故による避難指示区域に指定されていることから、村内で操業をしている事業所・個人を除き、ほとんどの方の土地・建物の固定資産税が免除されています。今後、村の避難指示が解除されれば固定資産税も課税されることになり、村に土地・建物を残しながら村外にも取得された方は、双方に税金を納めていただくことになります。村の固定資産税の課税時期については、避難指示の解除時期にもよるため、現時点では未定です。

なお、村外に土地・建物を取得された場合、固定資産税のほかに登記時の印紙税や登録免許税、不動産取得税も課税されますが、これらについては減免の制度があります。減免の条件や申請に必要な書類など詳しくは、最寄りの法務局(印紙税・登録免許税)、福島県各地方振興局県税部(不動産取得税)、各市役所・町村役場(固定資産税)へお問い合わせください。

.....



佐藤 彩香さん(前田)

(質問) 全村避難が続く中、村は子どもたちを大切にしていると思います。ですが、子どものいない若い家庭や、独身の人に対してはどうでしょうか。これから村を支えていく世代への支援について、村の考えを教えてください。

(回答) 原発災害からの復興のため、まず必要なのは除染です。特に若い方は線量に敏感であると思います。村では、除染の徹底と、その後の放射線管理・情報公開をしっかり行うよう国に対し求めています。村独自にも除染結果をガンマカメラで検証し、帰村後できるだけ安心して村に暮らせるよう対策を考えています。

また、放射線の正しい知識を学ぶため、リスクコミュニケーションやかかわら版「道しるべ」の発行のほか、健康面ではホールボディカウンタによる内部被ばく検査も行っています。これらは今後も継続して行っていく考えです。

村を支える世代という観点からは、若い方が多く村内で働けるような支援も大切です。その一つに、村では、避難当初から村内事業所の継続操業を、避難後は中断した村内事業所の再開を国に働きかけ認めてもらいました。その結果、今も多くの若者が避難先から通いながら、仕事に汗を流しています。今後もさまざまに支援し、若者の働く環境づくりを進めていきたいと思っています。

さらに、住まいの問題も重要です。村では復興住宅や村営住宅の建設も進めますが、すぐには帰れない若者のためにも、永久は難しくとも、家賃補助の継続を国に要望し、今後の生活の見通しが立てられるようにしていきたいと考えています。

子どものいない若い家庭、独身者への支援ということでは、非常に多様な支援が考えられると思います。ここで全てはお答えできませんが、みなさんと一緒に考え、またお手伝いをいただきながら、なるべく多くの若者が村に暮らす、または村と関わって生活してもらえよう検討を進めていきます。



節分由来

昔、たびたび人間の子どもの居なくなつて困つてたら、鬼が子ども取つてぐと見だんだ。」「さらつて行つたのは鬼なんだが、鬼の子ども「匹さらうべ」つて、鬼の子どもは千匹居んだげんちよも、一匹だけ隠したんだ。子一匹いないため鬼は夢中になつて捜してんだ。そこで人間は、「お前は人間の子ともさらつて行がれだらどんなに困つか分がつか。人間の子とも取んねように約束すつか。焼いだ魚が泳ぎ、煎つた豆が浮いた時は人間の子ともを取つてもいい」と言つて、人間の子は取らないと約束させたんだ。

ほんじえ節分には、海へ行つて泳がないように、魚焼ぐ木さ刺して鬼入んねように入口さ刺して、煎つた豆浮いた時は人間の子を取つて食つて良いがらと約束していつから、煎つた豆まいでんだ。鬼はその約束守つて子ども取んなくなつたんだ。



「話者／加藤ハツ子さん(大久保・外内) いいたて民話の会発行「飯館むかしばなし」から転載」

お詫びと訂正

広報いいたて12月号の記事に誤りがありました。4ページ「第31回いいたて村文化祭」の記事の写真的説明に「大蔵の神楽」とありますが正しくは「大倉の神楽」です。訂正し、関係者の皆様に心よりお詫び申し上げます。



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
菅野 碧人くん	昭生・律子	長泥
須藤 魁士くん	翼・紫歩	白石
泉 琉煌弥くん	裕忠・かおり	長泥
高野 里奈ちゃん	尚重・香純	飯樋町

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
齋藤 守夫	深谷
菅野 由美子	二本松市

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
山下 ハルヨ	95	大倉
今野 秀子	89	上飯樋
永井 ミツ子	100	関沢
山口 ハツ子	86	小宮
佐藤 クニ子	71	前田・八和木
高橋 妙子	74	小宮

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月15日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

年末になると一年は早いとよく耳にします。個人的には逆でずいぶん前のことだと思つていたらつい最近だったということが多く、まだ一年だったのかという感じがします。決して抜けているわけではなく！新鮮な事が多いのだと前向きにとらえています。▼4月、広報担当となり、取材先で出会うたくさんの方が大切にしている思いに触れてきました。いつまでも自分らしくイキイキと過ごす秘訣は、好きなことを好きだと、自信をもって言うことだと思ふのです。▼今年一年、ありがとうございました！来年、皆さんの「好きなこと」が一つでも多く見つかりますように。(木幡)

仲間とともに
その21

飯館中学校
生徒会本部



新旧役員の皆さん。前列左が前会長の巻野雄汰さん(3年)、右が現会長の細杉睦輝さん(2年)

活動データ

- 会長1人、副会長2人、書記2人、庶務2人の7人体制。
- 10月に選挙を行い、11月に新旧役員が交代します。
- 各専門委員会と学校との連携を図る他、集会などの企画・運営、対外的な交流活動などを担います。

笑顔が素敵な生徒会の皆さんは、今年度「突破」というスローガンを掲げています。考案者で前副会長の高橋伸仁さん(3年)が「震災後の行事がパターン化していて、枠を壊して活動を広げたり広めたりしたいと考えました」とその意味を教えてくださいました。秋から新会長を務める細杉さんは「伝統を受け継ぎ、さらに新しい活動も」と抱負を語ります。各期のメンバーによつて生徒会にも個性があるとのこと。巻野前会長は「ノー原稿(原稿なしのスピーチ)と、あいさつは続けてほしいな」と後輩に期待を込め笑顔を見せました。

12/7

チエスト! 夢に向かって踏み出す勇気を
川崎宗則選手が飯館中学校を訪問

福岡ダイエーホークス(現ソフトバンクホークス)やメジャーリーグで活躍してきた川崎宗則選手が、飯館中学校を訪れました。

まずは体育館で、飯館中学校・飯館中学校の野球部やスポーツ少年団の子どもたちとキャッチボールなどで交流。その後、



「捕る! 投げる! That's it!」川崎選手は、考え過ぎず体を反応させよう! とアドバイス



勇気をもった「夢教室」。生徒からの率直な質問にユーモアも交え答える川崎選手

校舎に移動し、トークライブと「夢教室」を開催しました。

家族や夢について語った夢教室では、川崎選手が参加中学生に「まーでい、そしてチエスト!」という言葉を贈りました。「丁寧な生き方にプラス、やりたいことには勇気をもつてつこんで行ってほしい」というエールです。



表紙 川崎宗則選手の飯館中学校訪問

快活で親しみやすい川崎選手との交流は笑顔にあふれました。隣の記事もご覧ください。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。